



映画にドラマにミュージックビデオに



シーンが生まれるまち



—フィルムコミッション—



県内で撮影された映像作品数が7,000本を超えたと県が今年の8月に発表し、新聞各紙でも大きく報じられました。

日本有数の撮影数を誇る茨城県。そのなかで笠間市は、これまで300本以上もの作品のロケ地となり、なかでも筑波海軍航空隊記念館での撮影数はなんと県内一！

東京からのアクセスの良さや撮影スポットの豊富さはもちろん、市民の皆さんが撮影を快く受け入れてくれる、協力してくれる環境の良さが大きな魅力となっているそうです。

市では、「笠間市フィルムコミッション」が中心となり、撮影の誘致や映像クリエイターを目指す学生の育成などに取り組み、地域活性化や観光・文化振興を図っています。

「映像」という視点からみる市の魅力や、市民の皆さんの取り組みをご紹介します。

「笠間市フィルムコミッション」とは

笠間市フィルムコミッション（FC）は、映画、ドラマなどの映像制作会社に、市内のロケ地や宿泊施設、飲食店などを紹介しています。そのほか、市民の皆さんへ、撮影のサポートやエキストラ出演の協力依頼などを行っています。



笠間市フィルムコミッション担当
(プロジェクト茨城)

こばやし ひろゆき
小林 弘之さん

撮影関係者と地域の方たちのつなぎ役。笠間市FCの中心となり、撮影支援からイベント運営まで、映像にかかわるさまざまな業務に携わっている。

01 これまでに市内で撮影されたおもな作品

映画

「映像研には手を出すな!」、「太陽の子」、「賭ケグルイ」、「グッドバイ〜嘘からはじまる人生喜劇〜」、「アルキメデスの大戦」、「海賊とよばれた男」、「永遠の0」、「僕だけがいない街」、「座頭市」、「散歩する侵略者」、「HIGH&LOW THE MOVIE2」、「ラプラスの魔女」、「初恋」、「棘の中にある奇跡」など

MV

「RADWINPS」、「BISH」、「Nissy」、「東京ゲゲゲイ」、「A KB48」など

【おもなロケ地】 筑波海軍航空隊記念館、旧東中・小学校、市役所、浄化センターともべ、地域交流センターともべ・いわま、岩間体験学習館「分校」、笠間芸術の森公園、石切山脈、笠間城跡、笠間稲荷神社、かさま歴史交流館 井筒屋、笠間稲荷門前通り など

TV

「エア・ガール」、「テセウスの船」、「麒麟が来る」、「仮面ライダーシリーズ」、「奇跡体験アンビリバーボー」、「満点☆青空レストラン」、「リバーズ」、「THE突破ファイル」、「女囚セブン」、「時効警察はじめました」、「サイン-法医学者 柚木貴志の事件-」、「咲〜 saki 〜」、「咲〜 saki 〜 阿知賀編」、「僕が笑うと」、「破獄」、「彼岸島 デラックス」、「天皇の料理番」など

CM

「コンビニ・化粧品会社・保険会社」など

02 市の経済にもプラス

撮影支援による経済効果

約5,400万円 (令和元年度)

※笠間市FCが主催となった事業のみで換算

宿泊・飲食
施設使用など



学生支援(笠間高校メディア芸術科)

03 撮影支援のほかにも

〈映画祭の開催〉

かさま映像コンペティション

〈学生支援〉

・学生支援作品(東京藝術大学・茨城大学・立教大学)

・子ども・学生向け映像制作ワークショップ



かさま映像コンペティション



映像ワークショップ

SUPPORTER INTERVIEW



協力者インタビュー

撮影を受け入れるためには、地域の皆さんの力が不可欠です。
いつもご協力をいただいている皆さんにお話をうかがいました。

FC関連商品開発・食事提供



洋風笠間菓子グリュイエール

代表 **根本 高行さん**



映画『永遠の0』上映を記念したコラボ商品



店がロケ地に使われることも（写真は映画『棘の中にある奇跡』での記念写真）



出演者へバースデーケーキを作成することも（写真は、映画『海賊とよばれた男』撮影時のもの

笠間の良さをもっともっと伝えたい

笠間にはおいしい食や、人の温かさ、魅力ある場所がたくさんあり、この資源はいくらでも映像に使えるまちだと思っています。撮影に関わる皆さんに喜んでもらえるような、食を通じたバックアップをこれからも続けていきたいと思っています。笠間のものを食べてもらうことで、“笠間っていいな、また来よう、また撮影しよう”と思ってもらえたら、それ以上に嬉しいことはありません。



映画『太陽の子』2021年劇場公開予定。テレビドラマ版とは別の視点で描かれる。



『太陽の子』撮影の様子。登り窯での窯焚きシーンの撮影が、伊藤さんをはじめ市内陶芸家たちの協力のもと行われた。

新たな経験、新たな縁

たくさんの人が集まって、作品を作り上げようとするクリエイティブな場所に関われたことは、ものづくりをする立場として貴重な経験でした。窯焚きの下準備には地元の方も多く参加していたので、撮影をきっかけに新たなつながりもできました。「こうば」は人が集まって交流が生まれる場所だと思っているので、役に立てることがあれば、これからも協力をしていきたいです。

ロケ地提供・撮影支援



笠間焼窯元 久野陶園

14代目 **伊藤 慶子さん**

映像制作支援ボランティア・エキストラ・学生支援



いとう たかし
伊藤 崇さん



スタッフと仲良くなるとこんな役割をお願いされることも



撮影日の手伝いは、人と車の誘導、飲み物や食べ物の管理など



全身変身する時代劇のエキストラ。作品に関わっている感では一番とのこと。

映像がカタチになる喜びを共有させてもらえ

現場の皆さんが納得のいく仕事ができるように、それぞれの役割に集中できる環境をいかに人知れず作れるかが重要だと思っています。撮影支援やエキストラ、学生の支援など、どんな事でも何かをカタチにするお手伝いをした結果、皆さんの満足顔が見られると、一緒に喜びや達成感を味わうことができます。私の現場での役割は誰にでもできる事です、それこそが最高のカタチにする最後の駒かも？その勘違いもやりがいです（笑）



エキストラ募集中



エキストラ参加者（筑波海軍航空隊記念館）



“市から制作者が生まれたら”という願いで子ども向けの映像ワークショップも開催

エキストラ派遣



Yプロダクション

やぐち あきひと
代表 谷口 昭仁さん

生まれ育った笠間を、映像で盛り上げたい

私の仕事は皆さんとのつながりがあるからできること。市内をはじめ、茨城の皆さんがいつも楽しそうに参加してくださることに、とてもありがたく思っています。エキストラは映像作品に直接触れられる機会だと思っています。これからも地域の皆さんに参加してもらい、撮影を身近に感じてもらうことで、地域のみなさんと一緒に笠間市を盛り上げていきたいです。

炊き出しボランティア



ほへみ

いしかわ みえこ すずき こ
石川 美恵子さん、鈴木 せつ子さん



炊き出しの様子

作らせていただく喜び

県立こころの医療センターで発足したボランティア。皆さんに喜んでもらいたい思いで、各イベントで炊き出しをしています。隣接の筑波海軍航空隊記念館での映画撮影の時も、監督さんやスタッフ、俳優さん、女優さんにも提供させていただいています。ご縁のある方を選びすぐりのおいしいものを食べていただき、皆さんの喜ぶ顔を見ることが一番のやりがいです。一期一会。人との関わりを大切に活動を続けています。



撮影セットの制作にかかわるきっかけとなった映画『座頭市』のセット。これまでに『進撃の巨人』や『キングダム』などの大作にも多く参加されています。渋谷駅のセットを実寸大で作ったこともあるそうです！

一本の電話、“茅葺きの家を作れますか？”ここから始まりました

2003年に撮影された座頭市の一本の電話がきっかけで18年間関わらせていただいています。大変な面はありますが、技術指導を受けながら、何もないところに実際にある街を作るなど、達成感が大きく、苦労と思ったことはありません。また、作業を陰で支えてくれる市内業者の方からの助言や助けには心から感謝しています。プロ集団の中で制作したものが映像に残る喜びと、そのノウハウが本業の建築にも活かせるし、本当に楽しい現場です。

撮影セットを制作



大枝建設

おおえだ てるお
社長 大枝 輝生さん

宿泊施設を提供



シティーホテル友部

とこい よしみ
支配人 常井 義三さん

おもてなしの心で、少しでも役に立てたら

撮影はハードスケジュールで、早朝から深夜にまで及びます。監督さんを始め、主役級の俳優さんたちも戻ってこられたときは大変お疲れの様子です。

滞在時間が変則なので、ホテルではできるだけ要望に応えられるように接することを心がけています。撮影には直接関わりませんが、協力できる喜びが業務のモチベーションアップに繋がっています。スタッフ一同、いつでもお待ちしております。



シティーホテル友部

SPECIAL INTERVIEW



スペシャルインタビュー

市内で『賭ケグルイ』続編作品を撮影し、これまで何度も笠間市で作品を撮影されているお二人にお話をうかがいました。

監督／英 勉さん



うるさいやつらですが、今後ともよろしくお願いします

笠間市の皆さんは人柄が良く、ロケ協力体制もとても良いなと思っています。また、前回、筑波海軍航空隊記念館で映画『映像研には手を出すな!』を撮影させていただいた際には、上映期間中に劇中小道具や衣装などの展示も行っていたと、とてもありがたかったです。

これまでに、2作品で筑波海軍航空隊記念館をロケ地として使わせていただけていますが、部屋一つではなく、施設の外観・廊下・階段など全体的にシーンとして使えるのが魅力的です。

撮影時には、地域の皆さんから食べ物の差し入れなどもいただき、撮影に集中して取り組むことができました。

私たちスタッフ一同、うるさいやつらですが、今後ともよろしくお願いします。

茨城の皆さんにもっと映画を見てほしい

プロデューサーの仕事では、作品を作りあげるうえでの難題をどう解消していくかが鍵となります。笠間は、フィルムコミッションを中心に地域の方たちもとても協力的で、変則的なお願いにも対応いただける環境にとっても感謝しています。私自身茨城出身ということもあり、県内でのロケは安心感がありますし、茨城で多くの作品を撮影できることを嬉しく思っています。

また、笠間は笠間高校のメディア芸術科や FC のワークショップをはじめ、映像クリエイターを目指すための環境が整っているのですごく羨ましいです。今は映像作品を気軽に見られる時代なので、若いうちにたくさんの作品を見て、映像を表現するための発想や方法をどんどん吸収してください。

笠間をはじめ、茨城の皆さんに、もっと映画を見てほしい。そのためには、良い作品を皆さんに届けられるようにこれからも頑張っていきたいと思います。

プロデューサー／柴原 祐一さん



市内で撮影された
『賭ケグルイ』続編
ぜひご覧ください

詳しい情報は
作品ホームページを
ご覧ください。





一人では何もできない。地域の皆さんがいるから撮影を呼ぶことができる、作品やイベントをカタチにするお手伝いができるんです。

映像作品の撮影を受け入れるためには、たくさんの時間と人の力が必要だったり、普段とは違った要望を受け入れたり、さまざまな対応が伴います。

しかし、地域の皆さんは、撮影などに参加することに対して、“楽しい”という言葉全員が口にしています。楽しみながら、いつも快く協力してくださる皆さんに、改めて感謝申し上げます。

“映像”をきっかけにできた地域のつながりをこれからも大切にしながら、にぎわいのあるまちづくりと一緒に目指していただけたら嬉しく思います。

小林 弘之



問い合わせ 笠間市フィルムコミッション Tel:0296-73-5777(筑波海軍航空隊記念館)